



難関大学への合格の知らせが続々と届いています。ここでは合格を勝ち取った生徒の声をご紹介致します。

《合格した大学・学部・学科（コース）》

筑波大学 人間学群 教育学類

志望動機

高校2年次に適応障害を経験したことを契機に、感覚過敏や学習障害のある生徒の心理的安全性を高める教育環境に関心を持ちました。筑波大学の高大教育プログラムに参加した際、自分の進路にあった学際的な学びに魅力を感じるとともに、学びの実践と高校からの探究経験を相互的に応用できる貴重な機会があることを知り、志望しました。

受験勉強を始めた時期

高校3年生4月（課外活動は高1から継続）

入試への準備方法

塾には行かず、自分で継続的に探究プログラムやアメリカ派遣留学に参加したり、プロジェクト立ち上げ・運営など受験直前まで継続して行いました。英語小論文は、本・新聞・信憑性の高いnote・The Guardian(英新聞)・文部科学省のデータを穴が空くほど読み、自分の意見と専門的な内容をドキュメントにまとめていました。自分から常に情報を探し、周りを巻き込みながらできることを全力でしました！

喜びのコメント

素直に嬉しいです！！お世話になった方々に心から感謝しています！大学生生活をのびのびと楽しみつつ大好きな分野の勉強を深めていきたいです！

後輩に伝えたいこと・アドバイス

私の事例はあくまで1つの例として参考にしていただければ幸いです。大学合格が全てではなく、大切なのはみなさん自身の「やってみよう」という気持ちだと思います。私はやりたいことが大学での興味分野の研究や留学だったため、最終的に進学を決意しましたが、それまでたくさん迷いました。受験の詳細は、進路要覧にあるのでぜひ進路指導室で見てください。



合格
祝
おめでとう

中川 さくら (なかがわ さくら)
一貫コース文系
東洋大学附属牛久中学校出身

《合格した大学・学部・学科（コース）》

上智大学 外国語学部 英語学科

志望動機

自身の経験を振り返る中で、海外で生活していた際に貧富の差を目の当たりにしたことから、国連で働きたいという夢を見つけたからです。その夢に近づくため、英語、フランス語、貧困問題について学ぶことができる上智大学英語学科を志望しました。

受験勉強を始めた時期

高校3年生7月ごろ

入試への準備方法

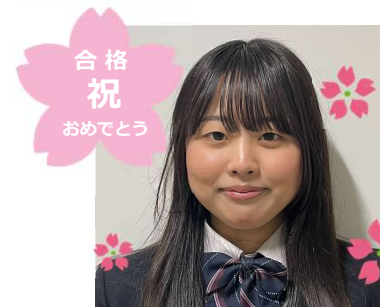
まず初めに、出願資格である英検準1級の取得に向けて高3の夏頃に対策を始め、夏休み前半に取得した。夏休み中は、一般選抜の勉強と並行して自己推薦書や事前課題の準備を行った。この2つは、たくさんの先生方に意見をもらいながら、提出直前まで何度も書き直した。夏休み終盤からは、英語の試験対策にひたすら時間をかけ、特に苦手だったWritingは先生に添削してもらいながら繰り返し練習した。試験2週間前から、ALTの先生方に協力してもらいながら、英語面接の対策をした。

喜びのコメント

試験後は、英語の和訳問題を思うように解けず、あまり手応えを感じることができませんでした。しかし、その後の合否発表で「合格」の文字を見た時には、本当に嬉しくて、泣きながら友達や家族に電話したことを今でも覚えています。

後輩に伝えたいこと・アドバイス

私は、高校1年生の時から、早稲田大学の国際教養学部に行きたいと思っていました。しかし、高3の夏になるまで勉強をしてこなかった自身の学力や時期を考慮した結果、志望校を変更することに決めました。正直に言うと、もっと早くから受験について考えて準備をしておけば良かったと、少しだけ後悔しています。私のように、少しの後悔も残らないよう、早めに準備することを強くおすすめします！！



合格
祝
おめでとう

大井 すみれ (おおい すみれ)
特別進学コース文系
つくば市竹園東中学校出身